

広島商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	設計製図
科目基礎情報					
科目番号	0022		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	電子制御工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「新編JIS機械製図」(森北出版株式会社)				
担当教員	若松 裕紀				
到達目標					
(1)製図の記号は国際共通基準であり、記載場所により意味が異なることが分かる。 (2)製図に描かれている文字や記号の情報を使うことができる。 (3)寸法公差、はめあいを求める方法を使うことができる					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
製図記号の理解	製図の記号・文字に判らないものがあれば調査して新しい記号・文字を活用できるようになる		製図の記号は共通基準であり、記載場所による意味を理解する		共通基準により製図の記号・文字が定められていることを理解しない。また、基本的な記号・文字の意味を理解していない。
製図記号の使用	複数の記号・文字について候補がある場合には適切なものを判断して使用できるようになる。		製図に書かれている記号・文字の情報を使うことができる。		基本的な記号・文字を理解して、適切に使うことができない
寸法公差、はめあい	ものづくりの中で実践的に寸法公差、はめあいを決定できるようになる。		寸法公差、はめあいを求める方法を理解することができる。		寸法公差、はめあいの意味が理解できない
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	設計製図は機械工学の加工系科目の基礎をなす科目である。製図の基礎を学習し、製品を製図できるようになることを目的とする。目標は①ものづくりに対する開発能力の基礎を育成する。②学習内容は、機械製図法である。③演習として、JW-CADを用い、本科目の理解を深めるとともに、その活用能力を身につける。				
授業の進め方・方法	授業は製図をすることに多くの時間を費やすが、基本的な内容については予習をしておく。				
注意点	授業は教室・LL教室など場所が変わることがあるので注意する。				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	手書きの製図	図面の役割と種類を適用できる	
		2週	手書きの製図	製図用具を正しく使うことができる	
		3週	手書きの製図	線の種類と用途を説明できる	
		4週	手書きの製図	物体の投影図を正確にかくことができる	
		5週	手書きの製図	基礎的な製図ができる。	
		6週	手書きの製図	基礎的な製図ができる。	
		7週	手書きの製図	基礎的な製図ができる。	
		8週	手書きの製図	基礎的な製図ができる。	
	2ndQ	9週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		10週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		11週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		12週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		13週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		14週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		15週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
		16週	手書きの製図	実用的な部品の製図ができる	
後期	3rdQ	1週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		2週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		3週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		4週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		5週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		6週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		7週	CADを用いた製図	CADを用いて基礎的な製図ができる	
		8週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
	4thQ	9週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		10週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		11週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		12週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		13週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		14週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		15週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
		16週	CADを用いた製図	CADを用いて実用的な部品の製図ができる	
評価割合					

	試験	レポート・課題	成果品・実技	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	100	0	0	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	100	0	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0